

3.2 山元町立中浜小学校の場合

別の機会には、教育復興支援センターの先生方から情報を得て、亶理郡山元町坂元地区にある中浜小学校を訪ねてみることにした。仙台平野から南方に阿武隈川を越えても海岸平野はさらに続いていて、山元町は福島県と海岸線で接しており、JR常磐線の坂元駅は宮城県最南端の駅ということになる。常磐線は現在（2014年3月現在）仙台駅から浜吉田駅まで運行しているが、相馬方面への代行バスは1駅手前の亶理駅から国道6号線に沿って走り、常磐線よりもかなり内陸側（西側）の坂元バス停からJR坂元駅までは直線で1km強の距離であった。無人の駅跡のプラットフォームに立ってみると、周囲にあるはずの集落の跡形が全く見当たらないことに、今更ながら津波に対する恐怖心が湧いてきた（図6）。そこから遠方に見える中浜小学校までは約1.5kmの距離であった。中浜小

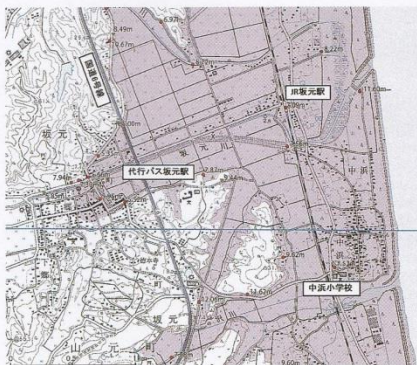


図6 山元町中浜地区周辺の津波浸水分布
(原口・岩松 [11]による)



写真06 中浜小学校全景（2013.9.28.撮影）
津波は2階の軒下にまで到達していた。

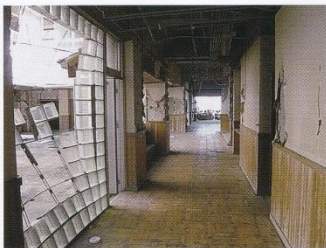


写真07 中浜小学校1階廊下の被災状況
(2013.9.28.撮影)
津波は中廊下を突き抜けて侵入してきた。



写真08 中浜小学校2階中央スペースの被災状況（2013.9.28.撮影）
児童たちは2階にしばらく待機しており、津波来襲の前に屋上に移動して助かった。



写真09 中浜小学校屋上から海岸方向を望む（2013.9.28.撮影）
津波が襲ってくる様子はここから確認された。



写真10 緊急避難場所となった中浜小学校の屋上倉庫（2013.9.28.撮影）
児童たちはここで一夜を過ごした。



写真11 海岸の防潮堤から中浜小学校を望む（2013.9.28.撮影）
学校周辺の集落は跡形もなく消滅している。

学校の前に建てられた今回の津波災害の慰霊碑によると、中浜地区の犠牲者は137人とのことであった。

中浜小学校では被災当時の校長先生が近所の方たちと花壇を造っておられるところに運よく行き合わせ、校舎内部と緊急避難場所になった屋上の屋根裏倉庫まで見せて頂くことができた。校長先生のお話によれば、地震後も小学校では電源が生きていて、児童たちを2階に集結させながらテレビから情報を得ておられたとのことで、津波の予想高さが3mから6mに変更されたことを知って、屋上の屋根裏倉庫に全員（児童・教職員・保護者・地域住民など90人）を緊急避難させることを決意されたそうである。海に近いことから日頃から津波対策には熱心で、2日前（2011年3月9日）の宮城県沖地震の翌日、つまり3.11の前日にも避難方法について話し合われたばかりであり、指定避難場所の坂元中学校までは徒歩20分を要することから、屋上への緊急避難のことは想定済みであったとのことである。津波襲来後は、子供たちに外部の光景を見せないように配慮され、一夜を屋上で過ごすために、防寒対策（備蓄品の毛布が濡れずに使用できた）や仮設トイレの設置にもご苦労があったそうで、翌朝になって自衛隊の救助へりに全員救出されたことは真に幸いであった（写真6～写真11）。中浜小学校との比較の意味で大川小学校の話題を持ち出した瞬間に、校長先生の態度が一変し、とても悲しそうな表情をされたのが印象的であった。

中浜小学校の場合、校舎内に留まり、当初は2階へ、さらに屋上への避難行動は成功したように思われる。しかし、学校に襲来した津波高さは図6によれば約7.5mであり、2階の軒先あたりまで津波は到達していた。すなわち、あと数m津波が高かったらと想像してみると、必ずしも喜んでばかりはいられない状況であったことが判る。

3.3 名取市立関上小学校・関上中学校の場合

名取市関上地区の地理的環境は前述の仙台市荒浜地区とよく似ており、広大な海岸平野の港町から発展した人口5,078人、1,826世帯（2011年2月末の名取市による統計資料）の集落密集地である（図7）。NHKスペシャル取材班[13]では、被災者への入念な聞き取り調査によって約600人の避難行動を詳細に追跡しており、その結果に



図7 名取市関上地区周辺の津波浸水分布
(原口・岩松 [11]による)

	世帯数	人口	犠牲者数	犠牲者の割合
関上一丁目	230	655	49	7.48%
関上二丁目	303	873	211	24.17%
関上三丁目	119	342	45	13.16%
関上四丁目	272	762	89	11.68%
関上五丁目	171	531	64	12.05%
関上六丁目	426	1072	142	13.25%
関上七丁目	305	843	89	10.56%
合計	1,826	5,078	689	13.57%

(世帯数、人口は平成23年2月末、犠牲者数は平成25年3月7日現在)



写真12 避難場所となった関上中学校（2013.4.20.撮影）
多くの人々は津波の直前に公民館から移動してきた。



図8 名取市による関上地区の被害統計
(NHKスペシャル取材班[13]に加筆)